

2026 年度 総合型選抜入試[学部独自方式]における出願資格の変更について[予告]

龍谷大学先端理工学部では、2025（2026 入試）年度の総合型選抜入試〔学部独自方式〕における出願要件等の変更および新たに入試を実施いたしますので、予め周知させていただきます。

なお、判定科目や選抜方法等の詳細については、当該年度の入学試験要項により必ず確認してください。

記

1 対象の入試種別

総合型選抜入試〔学部独自方式〕

2 対象課程・変更内容

- 1) 数理・情報科学課程_出願要件等の変更
- 2) 電子情報通信課程_出願要件等の変更
- 3) 機械工学・ロボティクス課程_2026 年度より新たに入試を実施

3 変更内容の詳細

1) 数理・情報科学課程

① 出願要件

変更後		変更前
(1) 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、数理・情報科学課程での勉学に強い意志と熱意を持ち、 <u>それにふさわしい能力を備える者。</u> (2) 次の①・②のいずれかを満たす者。 ①普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A の「図形の性質」・「場合の数と確率」、数学 B の「数列」、数学 C の「ベクトル」・「平面上の曲線と複素数平面」を履修していること。 ②普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A の「図形の性質」・「場合の数と確率」を履修していること。 <u>(3) を削除</u>	←	(1) 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、数理・情報科学課程での勉学に強い意志と熱意を持つ者。 (2) 次の①・②のいずれかを満たす者。 ①普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A の「図形の性質」・「場合の数と確率」、数学 B の「数列」、数学 C の「ベクトル」・「平面上の曲線と複素数平面」を履修していること。 ②普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A の「図形の性質」・「場合の数と確率」を履修していること。 (3) 次の①・②のいずれかを満たす者。 ①高等学校もしくは中等教育学校後期 3 年 1 学期までの全体の学習成績の状況（評定平均値）が 3.3 以上であること。 ②高等学校で履修した数学全科目の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上であること。

②一次エントリーシート B

変更後		変更前
高校等在学中に特に力を入れたこと（数学や情報科学など理工学に関連する学びや取り組みが望ましい）とその成果を記入してください。<u>例えば、探究活動や理系クラブ活動など授業や課外、あるいは個人の活動などが考えられます。検定試験への合格、コンテストへの入賞などの実績がある場合は、それを証明する書類（コピー可）を添付してください。</u>	←	高校等在学中に特に力を入れたこと（数学や情報科学に関連する学びや取り組みが望ましい）とその成果を記入してください。検定試験に合格していたり、コンテスト等に入賞した場合には、それを証明する書類（コピー可）を添付してください。

③合否判定方法 第一次選考（書類選考）

変更後		変更前
<u>出願書類を総合して合否を判定します。エントリーシートでは、①数学や情報科学など理工学に関連する分野への興味・好奇心が伺えるか、②大学で何を学び、それを将来どのように活かそうと考えているかをわかりやすく伝えることができるか、③高校等在学時に力を入れたこと（数学や情報科学など理工学に関連する学びや取り組み）について、その成果の優れているところを自己分析し、わかりやすく主張できているかなどを評価します。</u>	←	①受験者の数学や情報科学に関連する分野への興味・好奇心が伺えるか、②大学で何を学び、それを将来どのように活かそうと考えているかをわかりやすく伝えることができるか、③高校等在学時に力を入れたこと（数学や情報科学に関する学びや取り組み）について、その成果の優れているところを自己分析し、わかりやすく主張できているかを評価します。

④二次プレゼンテーション及び個人面接

変更後		変更前
<u>高校等在学中に特に力を入れたこと（数学や情報科学など理工学に関連する学びや取り組み）とその成果について発表していただきます（発表約5分、質疑応答約5分）。一次エントリーシートBと同内容でも異なる内容でもかまいません。個人面接では、先端理工学部数理・情報科学課程を志望する理由について伺います。また、数学や情報科学に対する関心の高さや理解の程度に関する口頭試問も行います。</u>	←	高等学校在学中におこなった取り組み（本課程の学びに関連した数学または情報科学分野が望ましい）について発表していただきます（約10分〈質疑応答を含む〉）。個人面接（口頭試問も含めて約20分）では、志望動機について伺います。また、数学や情報科学等に対する関心の高さや理解の程度に関する口頭試問も行い、考えの具体性などについて尋ねます。

2) 電子情報通信課程

①出願要件

変更後		変更前
(1) 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、電子情報通信課程での勉学に強い意志と熱意を持つ者。 (2) 次の①・②をすべて満たす者。 ①「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」のうち、「物理基礎」を含む3科目を履修し、かつ、「物理」、「<u>化学</u>」のいずれかを履修している者。 ②普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの「図形の性質」・「場合の数と確率」、数学Bの「数列」、数学Cの「ベクトル」を履修していること。普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの「図形の性質」・「場合の数と確率」を履修していること。 (3) 次の①・②のいずれかを満たす者。 ①高等学校もしくは中等教育学校後期3年1学期までの全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.3以上であること。 ②「<u>数学Ⅰ</u>」、「<u>数学Ⅱ</u>」、「<u>数学A</u>」、「<u>数学B</u>」、「<u>物理</u>」のいずれか1科目の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上であること。	←	(1) 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、電子情報通信課程での勉学に強い意志と熱意を持つ者。 (2) 次の①・②をすべて満たす者。 ①「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」のうち、「物理基礎」を含む3科目を履修し、かつ、「物理」を履修している者。 ②普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの「図形の性質」・「場合の数と確率」、数学Bの「数列」、数学Cの「ベクトル」・「平面上の曲線と複素数平面」を履修していること。普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの「図形の性質」・「場合の数と確率」を履修していること。 (3) 次の①・②のいずれかを満たす者。 ①高等学校もしくは中等教育学校後期3年1学期までの全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.3以上であること。 ②「物理」の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上であること。

②エントリーシート

変更後		変更前
A 先端理工学部電子情報通信課程を志望する理由を記入してください。また、何を学び、将来どのように活かそうと考えているのか具体的に記入してください（800字程度）。 B 高校等在学中に特に力を入れたこと（<u>電子情報通信分野に関連する学びや取り組みが望ましい</u>）とその成果を記入してください（800字程度）。<u>検定試験に合格したり、コンテスト等に入賞した場合</u>には、それを証明する書類（コピー可）を添付してください。	←	A 先端理工学部電子情報通信課程を志望する理由を記入してください。また、何を学び、将来どのように活かそうと考えているのか具体的に記入してください（800字程度）。 B 高校等在学中に特に力を入れたこととその成果を記入してください（800字程度）。可能な限り、それを証明する書類（コピー可）を添付してください。証明書類は原則としてA4サイズに統一し、異なるサイズのものはA4サイズの台紙に添付するなどの工夫をしてください。ただし、工作物、ビデオ、CD等は不可。

③プレゼンテーション及び個人面接

変更後		変更前
<u>プレゼンテーション（約 10 分〈質疑応答を含む〉）では、高校等在学中に行った電子・情報・通信分野に関する取り組みについて、発表して頂きます。</u> <u>個人面接（約 10 分）では、志望動機について伺います。また、口頭試問として、電子情報通信分野の社会における役割に対する関心の高さや理解の程度、自分なりの考えの具体性などについて尋ねます。</u>	←	プレゼンテーション（約 10 分〈3 分程度の質疑応答を含む〉）では、①SSH や部活動などを通して行った電子・情報・通信分野に関する研究活動、②夏休みなどに自主的に行った電子・情報・通信分野に関する調査・実験・研究活動、③広く理数系の総合的な学習や探究において実施した調査・実験・研究活動、④教科書に掲載されている物理の実験などの中から一つ選んで設定した具体的な課題テーマについて、目的、方法、結果、考察、結論を要領よくまとめて発表して頂きます。個人面接（約 10 分）では、志望動機などについて伺います。また、口頭試問として、電子情報通信分野の社会における役割に対する関心の高さや理解の程度、自分なりの考えの具体性などについて尋ねます。

⑤合否判定方法 第二次選考（プレゼンテーション）

変更後		変更前
<u>高校等在学中に行った電子・情報・通信分野に関する取り組みについて、①そのテーマを選んだ理由と目的、②方法、③結果、④考察、⑤結論を論理的に要領よくまとめているかを評価します。</u>	←	SSH や部活動などを通して行った電子・情報・通信分野に関する研究活動、夏休みなどに自主的に行った電子・情報・通信分野に関する調査・実験・研究活動、広く理数系の総合的な学習や探究において実施した調査・実験・研究活動、教科書に掲載されている物理の実験などの中から一つ選び、具体的な課題テーマを設定して頂きます。プレゼンテーションにおいて、①そのテーマを選んだ理由と何を明らかにしようとしているかなどの目的、②方法、③結果、④考察、⑤結論を論理的に要領よくまとめているかを評価します。質疑応答において、自分の意見を正しく、わかりやすく伝えることができるかどうかとも評価します。

3) 先端理工学部 機械工学・ロボティクス課程

以下の出願要件等で 2026 年度より新たに入試を実施いたします。

出願要件	(1) 本学の建学の精神および先端理工学部のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、機械工学・ロボティクス課程での勉学に強い意志と熱意を持つ者。 (2) 次の①・②をすべて満たす者。 ① 「生物基礎」、「化学基礎」、「物理基礎」、「地学基礎」のうち、「物理基礎」を含む 3 科目を履修し、かつ、「物理」を履修している者。 ② 普通科の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学 A、数学 B の「数列」、「ベクトル」を履修していること。普通科以外の場合、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学 A を履修していること。 (3) 次の①～③のいずれかを満たす者。 ① 高等学校もしくは中等教育学校後期 3 年 1 学期までの全体の学習成績の状況（評定平均値）が 3.3 以上であること。 ② 「物理」の学習成績の状況（評定平均値）が 4.0 以上であること。 ③ 在学中に本課程の学びに関連した取り組みのある者。 〔該当例〕・個人またはグループでものづくりに関連した大会等へ参加した経験がある者。
②出願書類 (エントリーシート)	【A】 先端理工学部機械工学・ロボティクス課程を志望する理由を記入してください。また、何を学び、将来どのように活かそうと考えているのか具体的に記入してください（800 字程度）。 【B】 入学後の学修目標、目標を達成するための学修計画を記入してください。 【C】 高校等在学中の機械工学もしくはロボティクスに関する学びや取り組みについて記入してください。
③試験科目 (プレゼンテーション及び面接)	プレゼンテーション（約 10 分〈3 分程度の質疑応答を含む〉）では、以下の①～④の中からひとつを選んで発表して頂きます。①高等学校における課内もしくは課外活動において行った機械工学やロボティクスに関する研究活動、②夏休みなどに自主的に行った機械工学やロボティクス分野に関する調査・実験・研究活動、③広く理数系の総合的な学習や探究において実施した調査・実験・研究活動、④教科書に掲載されている物理の実験などの中から一つを選んで設定した具体的な課題テーマ。個人面接（約 10 分）では、志望動機などについて伺います。また、口頭試問として、機械工学・ロボティクス分野の社会における役割に対する関心の高さや理解の程度、自分なりの考えの具体性などについて尋ねます。

④合否判定方法	<第一次選考（書類選考）> エントリーシートにおいて、受験者の将来の学修に対する計画性を【A】の志望理由と【B】の学修目標および学習計画の記載内容を基に評価し、大学で学ぶにあたっての十分な主体性を評価します。また、機械工学・ロボティクス分野への関心度を【C】の「高校在学中の機械工学もしくはロボティクスに関する学びや取り組み」の記載内容を基に評価し、これまでの学びに基づく知識や技能の程度を判定します。 <第二次選考（プレゼンテーション）> 受験者の機械工学・ロボティクスに関する学びの深さ、主体性・多様性、および柔軟な表現力をプレゼンテーションにおける口頭説明および質疑応答を通じて評価し、大学で学ぶにあたっての十分な経験と表現力の有無を判定します。 <第二次選考（個人面接）> 受験者の機械工学・ロボティクス分野に対する関心度、理解度、自分で考える力について口頭試問を通じて評価し、大学で学ぶにあたっての十分な思考力・判断力の有無を判定します。
-----------------------	--

以上